



2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年5月10日

上場会社名 株式会社コラントッテ 上場取引所 東
コード番号 7792 URL <https://colantotte.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 小松 克巳
問合せ先責任者（役職名） 取締役管理統括本部長（氏名） 井阪 義昭（TEL）06-6258-7350
四半期報告書提出予定日 2024年5月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有（個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年9月期第2四半期の業績（2023年10月1日～2024年3月31日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	2,888	4.7	741	12.2	742	10.8	505	13.4
2023年9月期第2四半期	2,759	19.8	660	28.8	669	29.7	445	27.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	56.01	55.36
2023年9月期第2四半期	49.67	48.74

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年9月期第2四半期	百万円 4,889	百万円 3,589	% 73.4
2023年9月期	4,880	3,266	66.9

（参考）自己資本 2024年9月期第2四半期 3,589百万円 2023年9月期 3,266百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年9月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 20.00	円 銭 20.00
2024年9月期	—	0.00			
2024年9月期(予想)			—	22.00	22.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,700	5.4	1,250	22.9	1,250	21.6	800	24.0	88.71

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年9月期2Q	9,018,100株	2023年9月期	9,018,100株
2024年9月期2Q	42株	2023年9月期	42株
2024年9月期2Q	9,018,058株	2023年9月期2Q	8,966,932株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(第2四半期累計期間)	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、コロナ禍の収束により正常化が進み、インバウンド需要の拡大などもあって社会経済活動は回復基調で推移いたしました。

当社が営んでいる事業につきましても、スポーツ活動の正常化が進み、市場環境の好転がみられた一方で、地政学的リスクの高まりや海外経済の下振れによる景気回復の鈍化懸念など、先行きは不透明な状況が続いております。また、消費環境においても社会経済活動の回復による個人消費の改善基調は続くものの、物価高による消費者の節約志向が強まっており、力強さに欠ける状況となっております。

このような経営環境の中、「本気の実現」という経営理念の下、社会的課題である「生活の質」＝QOL(Quality of Life)の向上に貢献するための事業を展開し、社会的価値と同時に企業価値の向上に取り組んでおります。

当第2四半期累計期間につきましては、クリスマスなどのギフト需要への施策やキャンペーン施策を行うとともに、テレビCMや当社契約選手によるイベントの開催、SNSへの発信等、マーケティング活動の強化に取り組みました。さらに、主要取引先との関係強化と取引拡大等、営業活動の強化に取り組みました。

このような全社での経営強化策の下、ホールセール部門につきましては、インバウンドの増加やキャンペーン施策等により、売上高は1,861,768千円（前年同期比3.4%減）となりました。

イーコマース部門につきましては、テレビCMやSNS等のマーケティング活動の強化による認知度の向上及びキャンペーン施策等により、国内での自社サイト及びECモールの自社店舗が好調に推移いたしました結果、売上高は765,883千円（前年同期比20.5%増）となりました。

リテール部門につきましては、テレビCM効果やクリスマスなどのギフト需要への施策、またインバウンドの増加等により、来店客数が増加し、堅調に推移いたしました結果、売上高は261,179千円（前年同期比32.3%増）となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高は2,888,831千円（前年同期比4.7%増）、営業利益は741,188千円（前年同期比12.2%増）、経常利益は742,184千円（前年同期比10.8%増）、四半期純利益は505,102千円（前年同期比13.4%増）となりました。

なお、当社は、コラントッテ事業とCSS事業を営んでおりますが、コラントッテ事業以外のセグメントは重要性が乏しく、コラントッテ事業の単一セグメントとみなせるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の流動資産は3,911,814千円となり、前事業年度末と比較して71,966千円減少いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が97,043千円、電子記録債権が45,132千円、仕掛品が68,182千円それぞれ減少した一方で、現金及び預金が56,647千円、製品が64,714千円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は977,466千円となり、前事業年度末と比較して80,885千円増加いたしました。これは主に、投資その他の資産が89,601千円増加したことによるものであります。

以上の結果、当第2四半期会計期間末の資産合計は4,889,281千円となり、前事業年度末と比較して8,918千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末の流動負債は1,288,818千円となり、前事業年度末と比較して321,037千円減少いたしました。これは主に、電子記録債務が132,026千円、買掛金が67,004千円、その他流動負債が104,507千円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は11,338千円となり、前事業年度末と比較して6,869千円増加いたしました。これは主に、リース債務が6,858千円増加したことによるものであります。

以上の結果、当第2四半期会計期間末の負債合計は1,300,157千円となり、前事業年度末と比較して314,167千円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産合計は3,589,124千円となり、前事業年度末と比較して323,086千円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が324,740千円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べて56,346千円増加し、1,847,003千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は379,334千円となりました。これは主に税引前四半期純利益742,184千円、減価償却費39,134千円、売上債権の減少額142,175千円があったものの、仕入債務の減少額176,329千円、未払金の減少額68,788千円、法人税等の支払額229,202千円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は141,948千円となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出103,392千円、有形固定資産の取得による支出33,051千円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は181,047千円となりました。これは主に配当金の支払額180,244千円等があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の業績につきましては、2024年2月9日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

今後、業績予想の修正が必要な場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,789,745	1,846,393
受取手形及び売掛金	591,027	493,984
電子記録債権	209,930	164,798
製品	623,036	687,751
仕掛品	330,100	261,917
原材料及び貯蔵品	310,882	331,580
その他	130,579	126,838
貸倒引当金	△1,521	△1,449
流動資産合計	3,983,781	3,911,814
固定資産		
有形固定資産	663,228	660,317
無形固定資産	37,884	32,079
投資その他の資産	195,468	285,069
固定資産合計	896,580	977,466
資産合計	4,880,362	4,889,281
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	471,466	339,440
買掛金	219,136	152,132
未払法人税等	244,195	244,004
賞与引当金	62,769	46,096
製品保証引当金	7,896	6,900
株主優待引当金	15,316	15,316
クーポン引当金	2,689	3,050
その他	586,385	481,878
流動負債合計	1,609,855	1,288,818
固定負債		
リース債務	468	7,327
資産除去債務	4,000	4,010
固定負債合計	4,469	11,338
負債合計	1,614,324	1,300,157
純資産の部		
株主資本		
資本金	487,234	487,234
資本剰余金	477,234	477,234
利益剰余金	2,301,599	2,626,340
自己株式	△29	△29
株主資本合計	3,266,037	3,590,778
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	△1,654
評価・換算差額等合計	—	△1,654
純資産合計	3,266,037	3,589,124
負債純資産合計	4,880,362	4,889,281

(2) 四半期損益計算書

(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	2,759,841	2,888,831
売上原価	1,020,868	960,922
売上総利益	1,738,972	1,927,909
販売費及び一般管理費	1,078,332	1,186,720
営業利益	660,640	741,188
営業外収益		
受取利息	0	315
受取手数料	270	524
受取和解金	10,000	—
その他	227	156
営業外収益合計	10,497	996
営業外費用		
支払利息	430	—
為替差損	661	—
その他	82	—
営業外費用合計	1,174	—
経常利益	669,963	742,184
税引前四半期純利益	669,963	742,184
法人税、住民税及び事業税	227,378	226,359
法人税等調整額	△2,832	10,723
法人税等合計	224,545	237,082
四半期純利益	445,417	505,102

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	669,963	742,184
減価償却費	38,643	39,134
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△190	△72
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,387	△16,673
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	1,774	△995
クーポン引当金の増減額 (△は減少)	358	360
受取利息	△0	△315
支払利息	430	—
為替差損益 (△は益)	474	△75
売上債権の増減額 (△は増加)	67,564	142,175
棚卸資産の増減額 (△は増加)	5,096	△17,230
仕入債務の増減額 (△は減少)	100,951	△176,329
受取和解金	△10,000	—
未払金の増減額 (△は減少)	△52,464	△68,788
その他	76,877	△34,838
小計	900,868	608,537
利息の受取額	0	0
利息の支払額	△472	—
助成金の受取額	28	—
和解金の受取額	10,000	—
法人税等の支払額	△236,601	△229,202
営業活動によるキャッシュ・フロー	673,824	379,334
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	—	△103,392
有形固定資産の取得による支出	△50,397	△33,051
無形固定資産の取得による支出	△7,197	△4,036
その他	△1,009	△1,468
投資活動によるキャッシュ・フロー	△58,604	△141,948
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△48,786	—
社債の償還による支出	△17,500	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	88	—
リース債務の返済による支出	△985	△802
配当金の支払額	△143,011	△180,244
財務活動によるキャッシュ・フロー	△210,194	△181,047
現金及び現金同等物に係る換算差額	△367	8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	404,657	56,346
現金及び現金同等物の期首残高	1,328,363	1,790,656
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,733,020	1,847,003

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(棚卸資産の評価方法の変更)

棚卸資産に係る評価方法は、従来、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を採用していましたが、第1四半期会計期間の期首より、主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）に変更しております。

この評価方法の変更は、新しい基幹システムの導入を契機として、より迅速かつ適正な期間損益計算を行うことを目的としたものであります。

なお、過去の事業年度について、移動平均法による計算を行うことが実務上不可能であり、遡及適用した場合の累積的影響額を算定することができないため、前事業年度末の帳簿価額を当事業年度の期首残高とみなして計算を行っております。

また、この会計方針の変更による影響額は、軽微であります。